

化審法における物理化学的性状・生分解性・生物濃縮性データ
の信頼性評価等について

目次

はじめに.....	1
1. 性状データに関する選定基準の考え方.....	2
1.1 信頼性ランクと使用可否基準.....	2
1.2 キースタディ選定ルール.....	4
2. 国際的に、もしくは化審法上認められた試験法等.....	5
2.1 試験法.....	5
2.2 推定方法.....	7
3. 信頼性の定まった情報源.....	9
3.1 信頼性が高いと認められる情報源.....	9
3.2 専門家によるレビューを経ている情報源.....	10
3.3 専門家が信頼性ありと認めた情報源.....	11
4. 性状の項目別の使用可否基準とキースタディ選定ルール.....	11
4.1 融点.....	11
4.2 沸点.....	12
4.3 蒸気圧.....	13
4.4 水に対する溶解度.....	14
4.5 有機炭素補正土壌吸着係数 (Koc)	15
4.6 ヘンリー定数.....	15
4.7 解離定数 (酸解離定数) (pKa)	16
4.8 1-オクタノールと水との間の分配係数 (log Pow、log Kow)	17
4.9 生分解性.....	18
4.10 生物濃縮性 (BCF)	19
5. スクリーニング評価・リスク評価における性状データ選定の全体像.....	20
6. 国が既知見を収集する情報源の範囲.....	23
(参考1) 「OECD-HPV 化学物質点検マニュアル」での信頼性の考え方.....	24
(参考2) 「Japan チャレンジスポンサーマニュアル」での信頼性ランク分類の目安.....	26
(参考3) 単位の換算.....	29